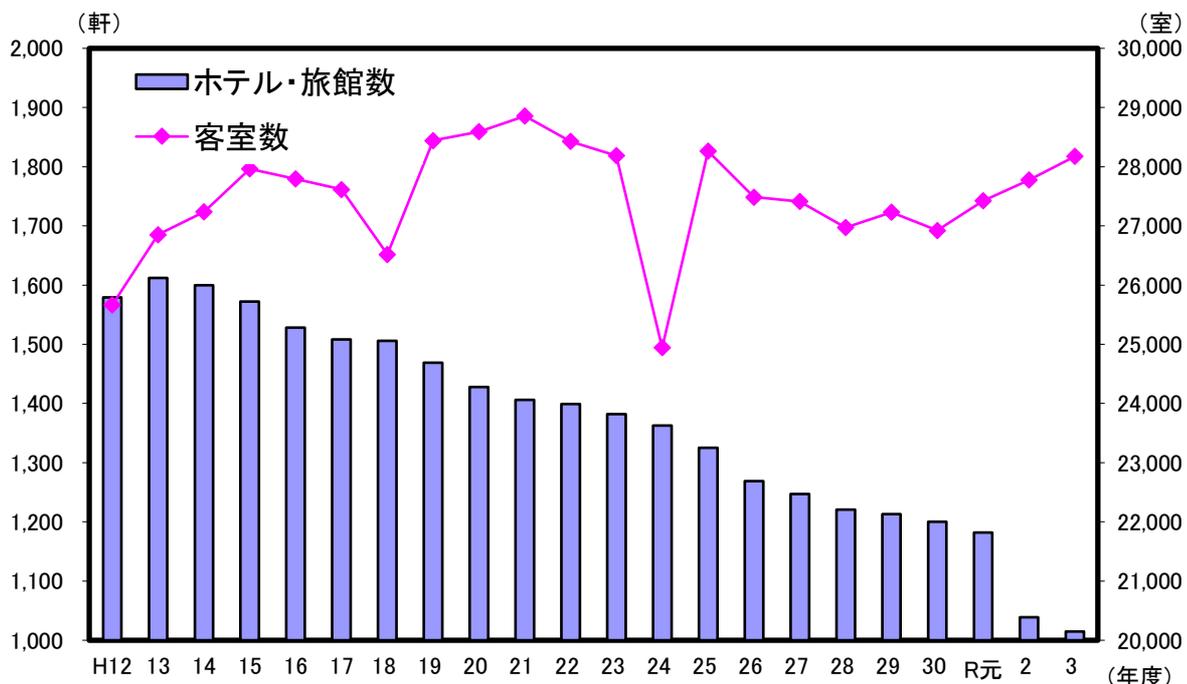


熊本県のホテル・旅館数と客室数の推移



解 説

【概要】

平成12年度からの熊本県のホテル・旅館数と客室数の推移をみると、施設数は、平成12年度に1,579軒あったが、令和3年度には1,015軒まで減少している。

一方、客室数は平成21年度には28,856室まで増加し、平成22年度からは減少傾向だったが、令和元年度増加に転じ、令和3年度には、28,176室まで増加している。

○ホテル

客室数10室以上であり、各室の床面積は9㎡以上、寝具は洋式で、出入口及び窓は施錠可能で、適当な数の洋式浴室又はシャワー室を有すること。

○旅館

客室5室以上で、和式の構造設備による各室の床面積が7㎡以上であること。

○一万人当たりホテル・旅館数

ホテル・旅館数÷推計人口×10,000

○温泉

地中から湧出する温水・鉱水及び水蒸気その他のガスで、摂氏25度以上の温度又は別に定める物質（19物質）のいずれか一つの基準量を満たすもの。

○温泉地数

宿泊施設のある温泉地の数を計上した。

○温泉湧出量

宿泊施設のある温泉地の湧出量

資料出所	調査期日	調査周期
「衛生行政報告例」 厚生労働省 「温泉利用状況」 環境省	令和3年度末 令和4年3月末	毎年 毎年